2024年1月17日
一般財団法人KIBOW

ニュースリリース

# KIBOW社会投資ファンド、第1号投資先の「愛さんさん宅食」の全株式譲渡を完了　地域福祉の未来を切り拓くEXITを達成

一般財団法人KIBOW（東京都千代田区、代表理事：堀義人、以下KIBOW）が運営する「KIBOW社会投資ファンド1号」は、投資先企業である愛さんさん宅食株式会社（宮城県塩釜市、代表取締役CEO：小尾勝吉、以下「愛さんさん宅食」）の全保有株式について、同社代表取締役 小尾氏への譲渡手続きが完了したことお知らせします。
小尾氏はKIBOWだけでなく、一般社団法人MAKOTOおよびケメットホールディングスが保有する同社株式もすべて取得し、愛さんさん宅食を社会福祉法人へと転換する方針を決定しました。

## ■愛さんさん宅食とは

愛さんさん宅食は、宮城県塩竈市および石巻市を拠点に、障がい者就労支援事業（A型・B型）、障がい者グループホーム、医療対応型ホーム業など、医療・介護福祉事業を総合的に展開するソーシャルベンチャーです。グループ会社の愛さんさんビレッジ株式会社と共に、地域に根差した包括的な福祉サービスを提供し、被災地域における多様なニーズに応えています。
KIBOWの投資・支援を受けた期間中、同社は事業拡大に成功し、売上を約8億円規模に成長させ、東日本大震災で被災した障がい者100名以上の働く場を創出。この成果は、ビジネスを通した社会課題解決の可能性を実証するものであり、KIBOWの社会的インパクトを象徴しています。

＜愛さんさんグループの目指すインパクトモデル＞

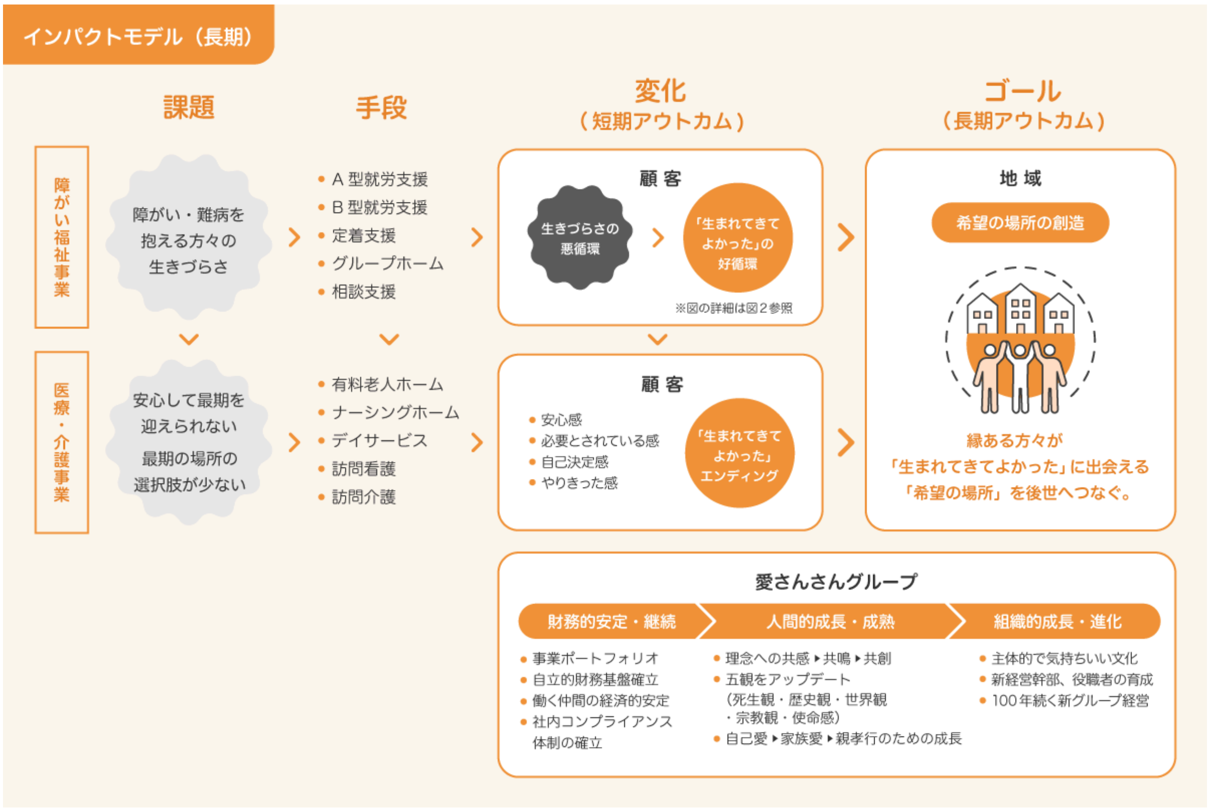
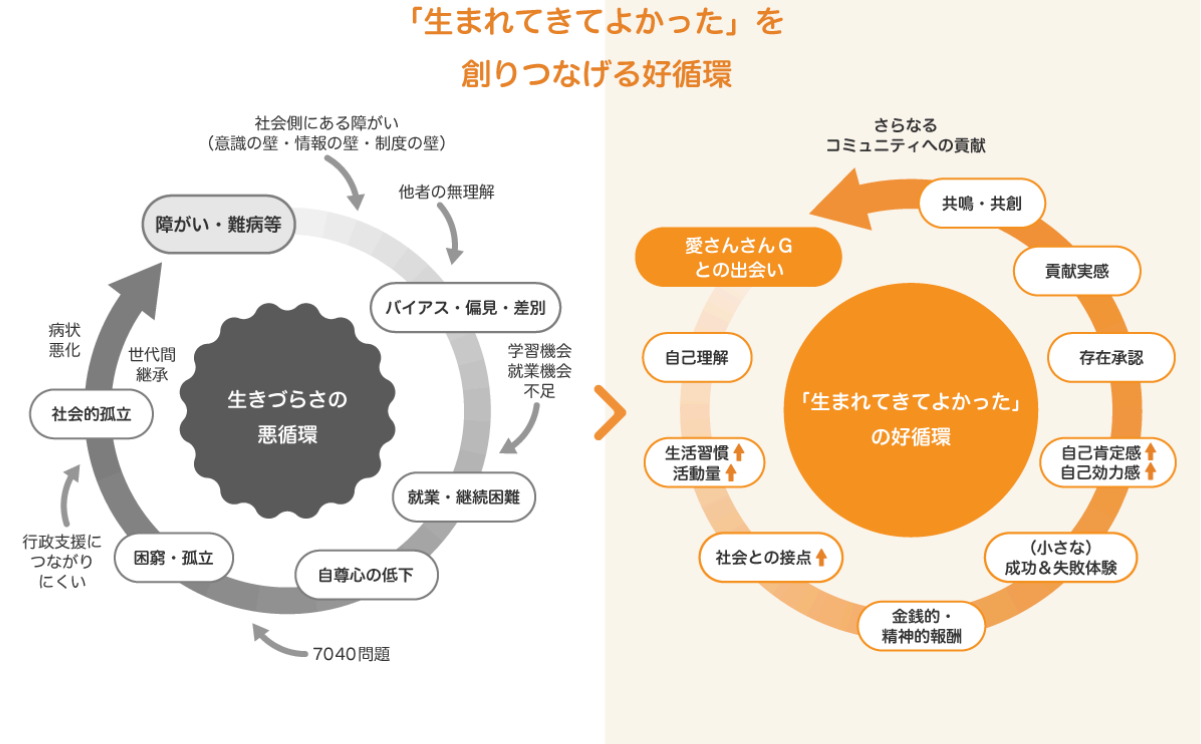


図2




**■リーダーとしての小尾氏「東日本大震災から生まれた志」**

代表取締役の小尾氏は、2011年にグロービス経営大学院東京校に入学。その後、「東日本大震災の被災地のためにできることをしたい」という強い想いから、神奈川県から宮城県へ移住しました。グロービス経営大学院仙台校での「東北ソーシャルベンチャープログラム*」を通じて、愛さんさん宅食のビジネスプランを構築。"「生まれてきてよかった」を創り続ける。"を理念に2013年4月より、ゆかりのない宮城県塩竈市にて創業。

同氏は、障がい者福祉と高齢者福祉を融合させた共生型というユニークな事業モデルを通じて、地域の課題解決に取り組み続けています。

* 2013年1月期～2016年1月期まで仙台校にて開講していたプログラム。東北の被災地域における社会問題をビジネスによって解決しようという社会起業家の養成を目的とする。

**■愛さんさん宅食株式会社 代表取締役CEO 小尾勝吉氏からのコメント**

「KIBOWの皆さま、いままで支えてくれた家族、一緒に働く仲間たちやそのご家族、お客様及び取引先のみなさまに感謝します。愛さんさんグループはたくさんの方々に育てていただきました。これからは法人として恩返し・恩送りできる組織であり続けるためにも、地域に根ざし、地域を希望の場所にすべく、声なき声に耳を傾けながらリスクをとってチャレンジしてまいります。

そして、1つの街が希望にあふれ、生きづらさを抱えた方々が『生まれてきてよかった』に出会える地域づくりに貢献し、次世代につないでまいります」

・小尾氏登壇イベント関連記事 （オウンドメディア「GLOBIS 学び放題×知見録」）
https://globis.jp/person_articles/751/

**■KIBOW社会投資ファンド 代表パートナー 山中礼二からのコメント**
「投資を始めた当時、愛さんさん宅食は『宅食』という社名の通り、お弁当宅配に特化した事業でした。しかし現在では、障がい者福祉と高齢者福祉、医療を融合し、複合的な事業を展開するまでに成長しました。その結果、生きづらさを抱える方々が『生まれてきて良かった』と思える居場所を提供する存在へと進化しています。今回のEXITを通じ、経済的リターンを実現しながら愛さんさんグループの社会的価値を確かなものにするお手伝いをできたことを、嬉しく思います。愛さんさんグループが今後、地域にとってさらに欠かせない存在となり、苦しみを抱えて生きる人たちの希望を創り続けることを願っています」

今回のEXITは、経済的リターンと社会的インパクトの両立を目指すKIBOWの取り組みの、象徴的な成果です。KIBOWは今後も、社会的課題に取り組む企業を支援し、持続可能な未来を実現するための投資を推進していきます。

**◆愛さんさん宅食株式会社について**

| | |
|---|---|
| 設立： | 2013年 |
| 事業内容： | 福祉事業等 |
| 代表者： | 代表取締役　小尾勝吉 |
| 所在地： | 宮城県塩釜市本町12-5 |
| URL： | https://aisansan-group.jp/ |

**◆KIBOWについて　（http://kibowproject.jp）**
東日本大震災の3日後に始動した救援・復興支援プロジェクト「Project KIBOW」は、「希望」と「Rainbow」から命名しました。長期的に被災地を支援していきたいという思いから、2012年2月に一般財団法人化し、以下の3つを軸に活動を展開しています。

1）「場」の提供（イベント）
被災地各地で、地域の復興を願う人たちが集まる「場」を作っています。地域の内外のリーダーたちが集まり、交流を生むイベントを定期的に開催しています。

2）寄付
これまで、約1400名以上の方々にご協力いただき集めた資金、約1億円を、被災地で活動しているNPOや各地のリーダー達に提供しています。

3）社会的インパクト投資（KIBOW社会投資）
被災地に限定せず、「社会を変える」志を持った社会起業家たちに投資し、事業の規模化を支援します。

**■本リリースに関するお問い合わせ先**
グロービス 広報室　土橋 涼
E-mail： pr-info@globis.com